

特別企画

学生ライターがお届けする #at that time

新型コロナウイルスの影響により、今年はずっと違う学校生活がスタートしました。

今回の特集では、自宅で受講する「遠隔授業」をテーマに、学生の立場で、周りの同級生や教職員の方へ取材しました！

Focus on Person

新型コロナウイルスが流行したことにより、授業の開始が1ヶ月延び、本来の4月から5月になりました。4月から遠隔授業が開始されるまでの間は大学から課された課題に取り組み、5月からは、教科書による自己学修や課題の提出に加えて、動画配信型の遠隔授業が開始されました。遠隔授業では、1週間のうちにある授業動画がMoodleに掲載され、私たち生徒が指定された期間内に視聴し、動画内で指定された課題を提出するというものでした。

ほぼ全ての授業が1時間以内と、短い時間に情報が凝縮されていたので、普段以上に集中して聞くことができました。分からない時には一時停止をして何度も見返すことができるので、自分の分からない所を見過ごすことが少なくなったように思います。そして、講義を見たのちに課題を提出することで復習もでき、普段の対面授業ですべきことを見返すいい機会になりました。

※Moodleとは…eラーニング(インターネットを利用した学習形態)システムのひとつで、教材ページ作成・公開や課題提出などオンラインで授業を行うことができる。

福岡歯科大学
第4学年
筑紫 由理佳



私が取材しました！

システムの構築や先生方のフォロー、学生へのアンケートなど学生がより学びやすくなるようにサポートをしてくださっている教育支援・教学IR室の方々にインタビューしました。

Focus on Teaching staff

遠隔授業の実施によりMoodle本来の使い方に。

内田: 学生さんが普段使っているMoodleは本学に合うようカスタマイズしたものです。昔に比べ現在の実習は、実習時間も短くなってしまい、技工操作など一連の流れを通して行うことが少なくなっています。そこで、一連の流れを学べるようなものを作りたいというのがMoodleを導入した狙いです。しかし実際には、講義の資料等を掲載するのがメインになっており、本来の狙い通りの使い方には至っていませんでした。今回、遠隔授業に取り組んだことをきっかけに、Moodleの使い方が当初の狙いに近づいたように思います。また既にMoodleを構築していたからこそ、遠隔授業へ早期に移行することが可能でした。

学習を全力でサポート! IR室・遠隔授業の裏側では…

内田: 教員の皆さんには、パワーポイントの講義資料に音声録音したものを遠隔授業用教材としてMoodleへアップロードする作業を行っていただきました。

この一連の作業はIR室もお手伝いをさせていただきながら進めました。「短期間での教材作成の労力」や「対面ではなく画面越しでも伝わるような教材作成の苦勞」など、遠隔授業ならではの悩みもいくつか寄せられました。教員の皆さんにはご負担をかけましたが、今回作られた教材は、対面授業が始まってからも活用できると思います。

赤間: 遠隔授業の運用で少し困った点としては、学生さんからの「課題やフィードバックが提出できているかどうか分からない」「出席状況が分からない」といった問い合わせについて十分に対応するのが困難だった点です。これについては、運用の見直しやシステムでの対応を検討したいと考えています。また、遠隔授業教材を作成する教員のPCが様々な環境(OSやソフトウェアのバージョン)であり、それに起因する問い合わせへの対応に追われたという点もあります。ただ、今回得られた経験を活かし今後はより円滑に対応できると思います。現在は、他学年の授業を復習用として繰り返し見ることができる機能などの実装を検討しています。

教育支援・教学IR室
赤間 尚希さん

教育支援・教学IR室
内田 竜司教授



Focus on Students



学生12人に、
動画配信型の遠隔授業を受けてみてどうだったか
ヒアリング調査を行いました!

良かったこと



- 自分のペースで好きな時間に好きだけ視聴可能…… 6人
- 理解できない箇所の確認が取りやすい…… 4人
- 必要な情報が厳選されている…… 4人
- 先生に質問しやすい…… 4人
- 課題により復習ができ理解が深まる…… 3人
- 受動的でなく主体的に授業を受けられる…… 1人
- 対面授業と比べて、スライドが見えづらいことがない…… 1人

困ったこと



- 大事なポイントが分かりづらい…… 4人
- レジュメ配布がない…… 3人
- 自分のペースだからこそ生活リズムが乱れる…… 3人
- 課題の提出方法の際の機器の扱いが難しい…… 3人
- ちゃんと受講できているのか不安…… 2人
- 紙媒体で慣れており、データ自体への書き込みが難しい 1人
- 先生の声がたまに聞き取りづらい…… 1人
- 緊張感が少ない…… 1人
- ブルーライトがきつい…… 1人



Q オンライン授業は
どのように受けていましたか?

興味のある授業から受けて、理解に時間がかかったり、課題に時間がかかる教科から先に受けていました。課題はその都度提出していました。1人で受講する時もありましたが、友達と電話をしながら受講することが多かったです。自由にリラックスして受けることができました。(第4学年/女子)

実習で実際に各科を回るはずだったのが、中止になってしまったことが残念でした。サークルに入って先輩との関わりが欲しかったです。対面授業が始まるまでは同学年でも連絡先を知らないの、いろいろと確認したいことがあっても誰とも連絡が取れなくて不安でした。(第1学年/女子)



Q オンライン授業の他に、
この状況の中、
今思うことはありますか?

部活について



Q 次期主将として、
今思うことはありますか?

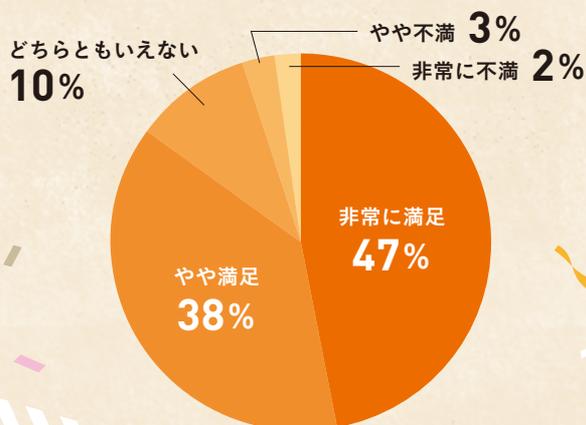
まず、夏で引退された先輩方を送り出せなかったことがとても残念です。毎年送り出しと共に引き継ぎを行っているのですが、それも行えず、このまま私が主将になって大丈夫なのだろうかという不安が日に日に大きくなっています。加えて、前期は新入生の勧誘ができなかったことによる部員数減少や部活動や文化祭、飲み会などの学年間の交流の場が無かったので部員をまとめていけるのかも不安ですが、幹部で今後を話し合っって部員一丸となって頑張っていこうと思います。

まとめ 初めてのこうした状況にも一人一人順応し、工夫して過ごしていたように思います。

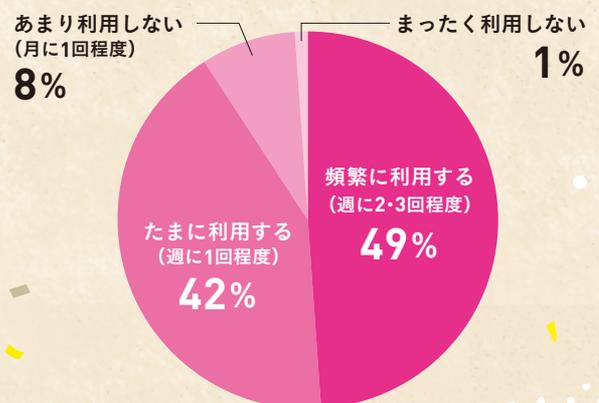
Focus on DATA

(福岡歯科大学学会雑誌第47巻1号掲載予定論文より引用)

今回実施した遠隔授業の満足度をお聞かせください



対面授業開始後も遠隔授業用教材を整備していった場合、
復習等の学習に利用しますか?



N=582 n=330(第1学年～第6学年)